

こども会議通信

Vol.05

2019.2.20

最後のこども会議を開催。

完成目前、今年はどうなドキドキ・ワクワクが待っているのか楽しみです！2月16日(土)に第5回のこども会議が開催されました。

▼コミュニケーションゲーム

今回のコミュニケーションゲームは、「どっちが好きかゲーム」をしました。1人ずつにテーマが書かれた紙が配られ、そのテーマについてグループの人達と話し合うゲームです。例えば、お題が「レストランとバイキング」であれば、「私はバイキングが好き、なぜなら…」とみんなに自分のことを知ってもらうように言います。そして今回もゲームを通して子どもたちの元気な姿が見られました。

▼オープンマイク

こどものまちのお金の流れについて復習した後に、新聞社を担当する子どもから「お店の取材をしにいくので協力してほしい」というアナウンスがありました。

▼お店・商品を考える

今日が本番前最後のこども会議のため、みんな一生懸命に完成を目指して作業に取りかかっていた。おとなファクトリーから必要な物を購入したり、どんな商品を作るのかを話し合っていたりしました。徐々に商品が完成に向かって、私たちの目にも何が作られているのか分かってきました。ここからどのように発展するのか、当

日が楽しみです。

▼まちのルール共有

公的機関(区役所、税務署、警察署、ハローワーク、銀行)から「まちのルール」の確認をしてもらいました。銀行(利子の金額)と税務署(出店料とバイト料の払う時間帯)のルールについては、こどもスタッフから少し意見が出され、一時保留となっていました。その後、話し合いの結果、改善されみんなの納得を得ました。大事なことがみんなの話し合いで決まっていたのはいいことです。

▼当日に向けた確認

2月23(土)・24(日)がいよいよ本番です。準備ができるのは、当日の朝のみとなりました。会議の最後に、当日に向けた最終チェック



商品づくりも大詰めです。

をして、こどものスタッフのみなさんが、まずは北区こどものまちのコンセプトである「自由に遊べる、安心安全、笑顔で仲良く」を守って楽しい2日間を過ごすことを約束しました。こども区長からも「インフルエンザや風邪が流行っているので、予防をしっかりして当日来てください」との一言がありました！

Text 大谷大学赤澤ゼミのり

おみせの準備室

お店の商品を考える時間では、みんな当日に向けて一生懸命準備を頑張っていました。今回は、射的屋とあそび場の様子について紹介します。

●射的屋

射的といえば、おもちゃの銃で景品を撃ち落とすのがよくあるやり方ですが、弾が当たっても景品が倒れないことがあるようで…。そこで、紙コップに景品の名前を書いて、倒した紙コップの景品がもらえるという仕組みにするなど自分たちなりに創意工夫していました。また銃を人に向けてたり、弾を人に当てたりしないように射的を楽しむルール作りも。冗談で人に当てた場合は罰金をとるなど、安全に射的を楽しめるようにしていました。

●あそび場

あそび場では、ボーリングや輪投げ、ゴム鉄砲などができます。輪投げでは、大小違う大きさのリングを作り、小さいリングを使って入れることができる景品がもらえるなど、よりゲームを楽しめるルールを作っていました。また、入場料で10ドキ支払わないといけないので、入場のお札にシールをプレゼントしてお客さんがより来てくれる工夫を考えていました。

他のお店もそれぞれ工夫を凝らして作業していて、次回のこどものまち本番で、みんなのお店がどうなっていくか楽しみです。

Text 大谷大学赤澤ゼミひとみ

カイギのカギ

「まちのお約束!？」

今回のこども会議では、公的機関のこどもスタッフが、まちのルールについて、みんなに共有しました。まず、こどものまちの税金について、お店をする人が税務署に出店料とアルバイト賃金の合計800ドキを、先に払うことになりました。でも、手元にお金がないと支払えないと考えた子ども達は、分割して徴収することにしました。

また、銀行からは、貯金と借金のルールが発表されました。みんなとの話し合いの結果、今年は貯金制度は無しになり、借金については60分ごとに10%の利子をつけることになりました。

次に、区役所からは、ドキのない人でも参加できるイベントの開催や1回10ドキでお願いごとができる「お願いBOX」の設置についてお知らせがありました。また、働く時間の上限を4時間に設定し、1時間は必ず休憩というルールも発表



表されました。

警察からは「注意しても聞かなければ罰金5ドキ」、「万引きや強盗などといった罪を犯したら10ドキ」を徴収することや「まちのための募金」を募り、受け付けた募金の半分は区役所に、残りの半分は困っている人に渡すルールが発表されました。

最後に、ハローワークから、1人20分ずつの単位で、仕事を提供することが発表されました。これは、まちに来てくれた子どもたちみんなが職業に就けるようにと、子どもたちの優しさが溢れたルールです。細かい点まで、みんなでルールを検討し、共有することで、良いまちづくりに繋がると実感しました。

Text 大谷大学赤澤ゼミすずな



本番への、エイエイオー！

今日で、こどものまち当日が開催されるまでの会議がすべて終わりました。

会議の最後に盛大なこどものまちになるようにと、

こども区長の掛け声のもとで、一致団結して“エイエイオー”

みんなで創りあげた“こどものまち”がいよいよ始まります、楽しみです。

北区 ニコニコ
こども
のまち